

第96期
ミニディスクロージャー

営業の中間ご報告

平成18年4月1日—平成18年9月30日



www.first-bank.co.jp

 富山第一銀行

CONTENTS

ごあいさつ	3
経営理念・地域密着型金融	4
事業の概況	5
業績ハイライト	6
経営の健全性	8
資産の健全性	9
地域密着型金融推進計画の進捗状況	10
地域への貢献	11
お知らせ	15
中間連結貸借対照表	16
中間連結損益計算書	16
中間連結株主資本等変動計算書	16
中間貸借対照表	17
中間損益計算書	17
中間株主資本等変動計算書	17
株式会社のご案内	18
役員	18
店舗のご案内	19
店舗外ATMのご案内	20

当行の概要

設立年月日 昭和19年10月1日

資本金 80億円

本店 富山市総曲輪二丁目2番8号

店舗数 69店

従業員数 761名

(平成18年9月30日現在)



取締役頭取

西田 純二

皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当行第96期上半期の営業の概況と決算の状況につきましてご報告申し上げます。

平成18年上半期の日本経済は、大企業先導から中小企業まで裾野を広げた設備投資が、内需拡大の原動力として好調さを維持しております。また、好調な企業業績を受けた雇用改善の動きから、個人消費においても底堅さを示し、民需主導で着実な成長を続けており、戦後最長の「いざなぎ景気」を超える情勢となっております。

しかし、米国経済の減速観から輸出鈍化などが見込まれるほか、中東情勢の緊張などをきっかけに原油価格が再び上昇する恐れもあり、拡大局面がどこまで持続するかが焦点となっております。

金融情勢を見ますと、金融審議会報告書に基づく「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」に沿った、新しいアクションプログラムへ盛り込んだ推進計画及び実績の公表や、本年度末から適用されるバーゼルⅡ（新BIS規制）への対応としてリスク管理の高度化、精緻化が求められております。

金融政策面では、景気の持続的な回復を背景に、日銀は15年余り続いた量的金融緩和政策を解除したことから、一時長期金利が2%台に乗せる展開となりました。

このような金融経済環境のなかで、当行はお客さまの多様化・高度化するニーズへの対応や、利便性向上に向けた体制の整備に努め、これまで「資産運用プラザ」の開設や北國、福井両行との業務提携による「ビジネス商談会」の共同開催、ATMの相互無料開放等を行ってまいりました。これからも、多様で良質な金融商品・サービスの提供に努め、地域経済の活性化、地域社会の発展に寄与してまいります所存でございます。

今後とも何卒一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成18年12月

経営理念・地域密着型金融

経営理念



地域密着型金融

事業再生・中小企業金融の円滑化

- ・ **地域になくてはならないコミュニティバンク**
金融サービス業に進化し、お客さま満足度の向上と当期の収益基盤強化を目指します
- ・ **確固たる顧客基盤の構築**
お客さまの利便性と説明態勢・苦情相談処理機能の向上を目指します
- ・ **人材基盤の強化**
新規・中途採用の積極化と研修体制の充実を目指します

経営力の強化

- ・ **リスク管理態勢の整備と財務の健全性の維持向上**
お客さまに安心・安全なお取引を提供いたします
- ・ **リスク管理の高度化による相応のリスクテイクの実施**
地域経済の活性化と自らの収益力の向上を目指します
- ・ **コーポレートガバナンスとコンプライアンス体制の充実**
引続き経営の最重要課題として一層の充実を目指します

地域のお客さまの利便性向上

- ・ **限りなくクリア (透明)、サウンド (健全)、フェア (公平)**
お客さまの目線に立って分かりやすい情報を発信いたします
- ・ **安心で安全な取引環境を提供**
お客さまから選ばれる銀行を目指します
- ・ **地域と一体となった「まちづくり」**
地域活性化に向けて、地方公共団体や商工団体等と連携した「まちづくり」を目指します

事業の概況

企業集団の主要な事業内容

当行グループは、当行、子会社及び子法人等5社で構成され、銀行業務を中心にリース業務等の金融サービスに係る事業を行っております。

〔銀行業〕

当行の本店、支店、出張所69か店において、預金業務、貸出業務、為替業務、各種金融商品販売等を行い、地域に密着した営業活動に積極的に取り組んでおり、グループの中心と位置づけております。

また、富山ファースト・ビジネス(株)において、銀行事務代行業務等

を行っております。

〔リース業〕

富山ファースト・リース(株)及び富山ファースト機販(株)において、各種のリース業務を行っております。

〔その他事業〕

富山ファースト・ディーシー(株)において、クレジットカード業務を行っております。また、(株)富山ファイナンスにおいて、信用保証業務等を行っております。

企業集団の事業の経過及び成果

譲渡性預金を含めた預金等につきましては、プレミアム定期の発売などお客さまへのサービス向上を旨として営業基盤の拡充に努めました結果、個人国債等一部金融商品にシフトしましたが、半期中に445億円増加し、当中間期末残高は9,014億円となりました。

貸出金につきましては、個人向け住宅資金、地方公共団体ならびに地元中堅・中小企業を中心とした資金需要に積極的にお応えしてまいりましたが、半期中に51億円減少し、当中間期末残高は6,541億円となりました。

有価証券につきましては、資金の効率運用のため、国債や地方債等の引受や購入に努めました結果、半期中に357億円増加し当中間期末残高は3,023億円となりました。

損益状況につきましては、経常収益は、貸出金利息が金利低下等により減少した反面、有価証券利息配当金が増加したことにより、資金運用収益は増加しましたが、役員取引等収益や債券売却益等収益が減少したことにより、前年同期比2億63百万円減少し133億29百万円となりました。一方、経常費用は、預金金利の引上げ等により資金調達費用が増加しましたが、不良債権処理費用の減少等により前年同期比5億34百万円減少し106億22百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比2億72百万円増加し27億7百万円となりました。

以上の結果、中間純利益は前年同期比2億27百万円増加し11億72百万円となりました。

対処すべき課題

金融界におきましては、保険取扱商品の拡大、銀行代理店制度の見直しや郵政民営化など各種規制緩和がますます進んでまいります。

一方、平成18年2月の偽造・盗難カード預金者保護法の施行や5月の会社法施行に伴いディスクロージャーの信頼性を確保するため、開示企業における内部統制を充実し、経営者に有価証券報告書の開示が適切である旨の宣誓が義務付けられるとともに、財務報告に係る内部統制の有効性を評価した報告書の作成が義務付けられるなど、利用者や投資家保護の各種施策が進められております。

さらに、平成19年3月期からの自己資本比率の規制等を改定するバーゼルⅡの導入により、総合的な観点での健全性確保のための各種リスクを把握し、経営に必要な自己資本額を検討する「自己管理型のリスク管理」が求められております。

また、金融庁が発表した「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」に基づき「地域密着型金融推進計画」を策定しておりますが、本年が重点強化期間の最終年度であり、事業再生・

中小企業金融の円滑化、経営力の強化、地域のお客さまの利便性向上への取組み強化をさらに推進してまいります。

「コンプライアンス態勢の充実と強化」につきましては、コンプライアンス・プログラムを実施することにより、コンプライアンス重視の行動を全従業員で定着させてまいります。なかでも、個人情報保護がコンプライアンスにおける主要課題のひとつの認識の下、一層の管理態勢強化を図ってまいります。

地域の皆さまに対しまして、これらの取組状況をディスクロージャー誌、マスコミ、ホームページ等を活用して適時適切に開示してまいります。

当行は、平成17年度をスタートとした第10次長期経営計画に基づき、『改革と挑戦』を主題に「地域への貢献」、「経営力の強化」、「収益力の強化」を基本方針とし、地域のお客さまに一層満足いただける銀行を目指して、その着実な実行にグループ一丸となって取り組んでまいります。

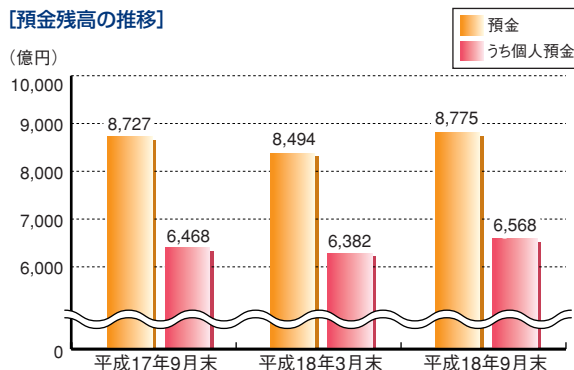
業績ハイライト

預金残高について

低金利が続く環境の中で、プレミアム定期の発売など地域に密着した営業活動を展開し、お客さまへのサービス向上を旨として営業基盤の拡充に努めました結果、平成18年9月末残高は、上半期中に281億円増加し8,775億円となりました。

同様に個人預金は上半期中に186億円増加し6,568億円となりました。

【預金残高の推移】

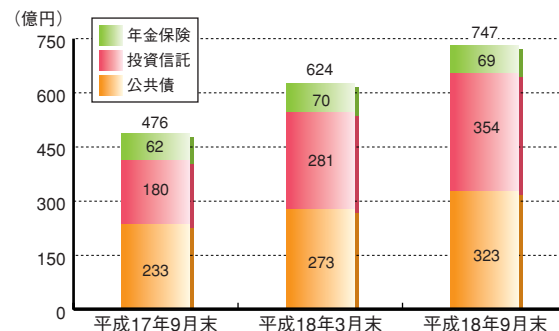


個人預り資産の推移

お客さまの多様化する資産運用ニーズにお応えするため、投資信託、年金保険、公共債等の販売を積極的に推進して預り資産の増強を図りました結果、平成18年9月末残高は、上半期中に123億円増加し747億円となりました。

これからも、お客さまのニーズにあった新商品の販売や質の高いサービスの提供に努めてまいります。

【個人預り資産残高の推移】

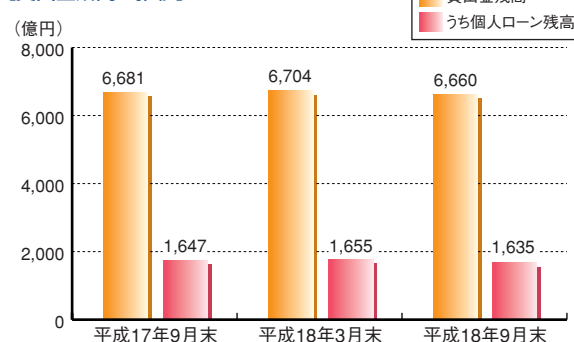


貸出金残高について

貸出金につきましては、個人向け住宅資金、地方公共団体ならびに地元中堅・中小企業を中心とした資金需要に積極的にお応えしてまいりましたが、平成18年9月末残高は、上半期中に44億円減少し6,660億円となりました。

また、個人ローンは住宅資金などの資金需要に積極的に応えましたが、平成18年9月末残高は、上半期中に20億円減少し1,635億円となりました。

【貸出金残高の推移】



業績ハイライト

業務粗利益

資金運用収支は、有価証券利息配当金等の増加が寄与し、前年同期比1億21百万円増加いたしました。役務取引等収支が前年同期比40百万円減少したこと及びその他業務収支が、債券売却損の計上により前年同期比11億79百万円減少したことにより、業務粗利益は前年同期比10億98百万円減少し89億4百万円となりました。

コア業務純益

銀行は、一般事業会社と異なる収支構造を持っているため、業績を示す指標の一つに業務純益があります。

また、銀行本業部分での業績を示す指標にコア業務純益がありますが、当中間期は36億47百万円となりました。

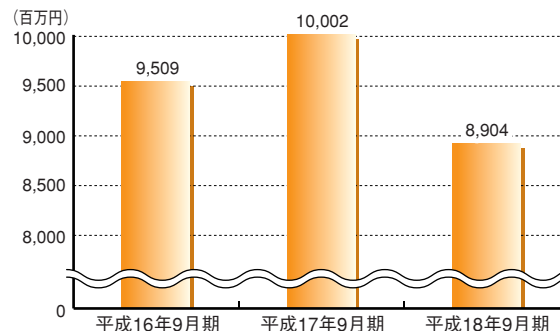
- ・業務純益＝業務粗利益(資金運用収支＋役務取引等収支＋その他業務収支)－経費(除く臨時処理分)－一般貸倒引当金繰入額
- ・コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額

経常利益・当期純利益

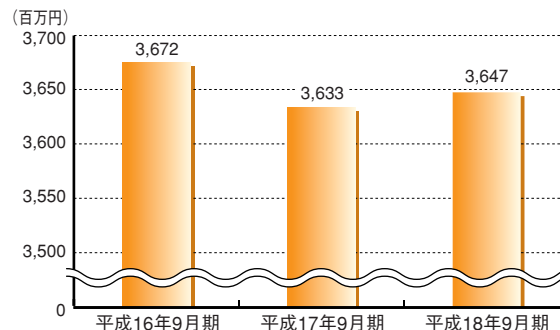
経常収益は、金利低下により貸出金利息が減少した反面、有価証券利息配当金等が増加したことにより、資金利益は増加いたしました。役務収益や債券売却益等収益が減少したこと等により、前年同期比3億47百万円減少し109億20百万円となりました。一方、経常費用は、預金金利の引上げ等により資金調達費用は増加いたしました。不良債権処理費用の減少等により前年同期比5億55百万円減少し84億40百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比2億8百万円増加し24億80百万円となりました。

以上の結果、中間純利益は前年同期比2億30百万円増加し11億58百万円となりました。

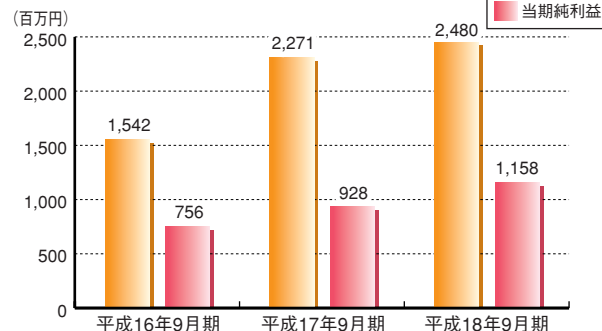
【業務粗利益の推移】



【コア業務純益の推移】



【経常利益・当期純利益の推移】

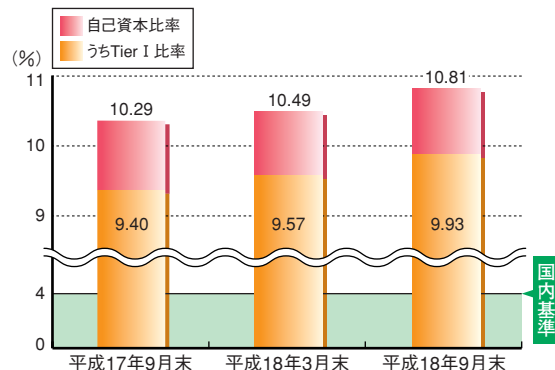


経営の健全性

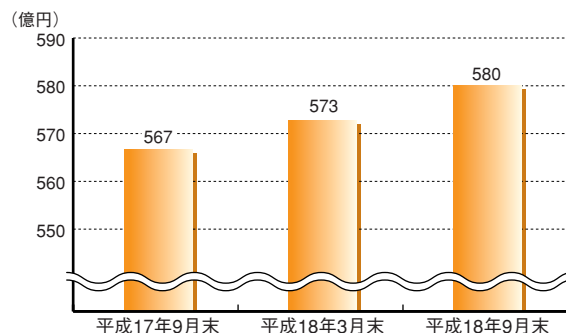
自己資本比率は健全基準を大幅にクリアする10.81%

自己資本比率は銀行の健全性を見る上での重要な指標の一つですが、当行の自己資本比率は10.81%と国内基準で求められている4%を大幅に上回っています。また、基本的項目（本来の自己資本）で算出したTier I 比率でも9.93%と国内基準の2倍以上の高い水準で推移しています。さらに子会社5社を含めた連結自己資本比率は11.30%と一層安定した水準を維持しております。今後も引き続き良質な資産の積み上げを図るとともに、内部留保の拡充により自己資本比率の一層の向上に努めてまいります。

【自己資本比率の推移(単体)】



【自己資本の推移(単体)】



【自己資本及びリスクアセット (単体)】 (単位：百万円、%)

	平成17年 9月末	平成18年 3月末	平成18年 9月末
自己資本額 ①	56,706	57,391	58,086
Tier I (基本的項目) ②	51,830	52,394	53,328
Tier II (補完的項目)	4,875	4,997	4,758
リスクアセット ③	550,863	547,062	536,928
自己資本比率 ①÷③	10.29	10.49	10.81
Tier I 比率 ②÷③	9.40	9.57	9.93

1株当たり純資産

当行では、従来より健全経営を最重要課題とし、每期内部留保の拡充に努めてまいりました結果、1株当たり純資産は、着実に増加しております。

【1株当たり純資産の推移】

平成16年 9月末	平成17年 3月末	平成17年 9月末	平成18年 3月末	平成18年 9月末
963円01銭	1,006円10銭	1,048円66銭	1,071円50銭	1,104円44銭

自己資本比率＝

$$\frac{\text{Tier I (基本的項目)} + \text{Tier II (補完的項目)}}{\text{リスクアセット}} \times 100$$

- ・Tier I (基本的項目)＝本来の自己資本のことで、資本金・資本剰余金・利益剰余金等の合計
- ・Tier II (補完的項目)＝土地の含み益、一般貸倒引当金等
- ・リスクアセット＝リスクの度合いに応じて調整した総資産

資産の健全性

資産内容の一層の健全化に努めています。

当行では、資産の健全性をより促進するために毎期厳格な自己査定を行い、適切な償却・引当を行うことに加え、お取引先に対する経営支援を強化し、債権内容の良化に努めています。

一定額以上の大口債務者について個別に経営改善計画等に基づく今後の業績予想等により、将来のキャッシュ・フローを見積もり、引当金を計上するキャッシュ・フロー見積法を採用しております。

中小企業の健全化に向けた取組み

中小企業の経営改善・再生に向けた取組みのため「企業支援チーム」を編制し、中小企業診断士を配置して、営業店と連携した企業支援体制の整備・強化を図り、取引先支援に積極的に取り組んでおります。その結果、平成18年度上期中に20社の経営改善が図られました。平成17年4月以降の取組状況は下記のとおりです。

【経営改善支援の取組み実績】

	平成17年4月から平成18年9月までの累計	
	うち平成18年度上期	
経営改善支援 取組み先	258	222
うち債務者区分が 上昇した先	56	20

金融再生法開示債権とは、貸出金・支払承諾見返・外国為替・未収利息・仮払金を対象としています。

①破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、会社更生手続開始、再生手続開始の申し立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

②危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。

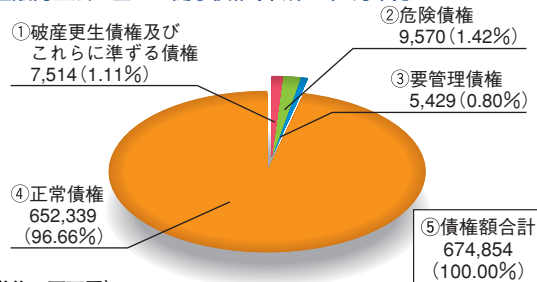
③要管理債権

3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

④正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして上記①から③に掲げる債権以外のものに区分される債権です。

【金融再生法に基づく開示債権(平成18年9月末)】



(単位:百万円)

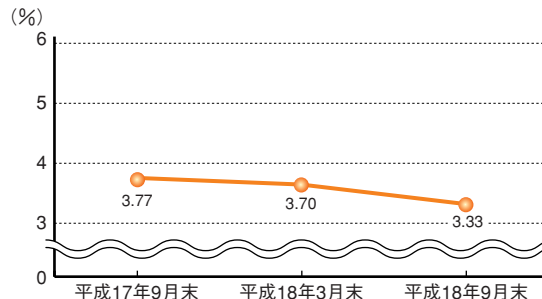
(%)は債権額合計に占める比率

●金融再生法に基づく開示債権

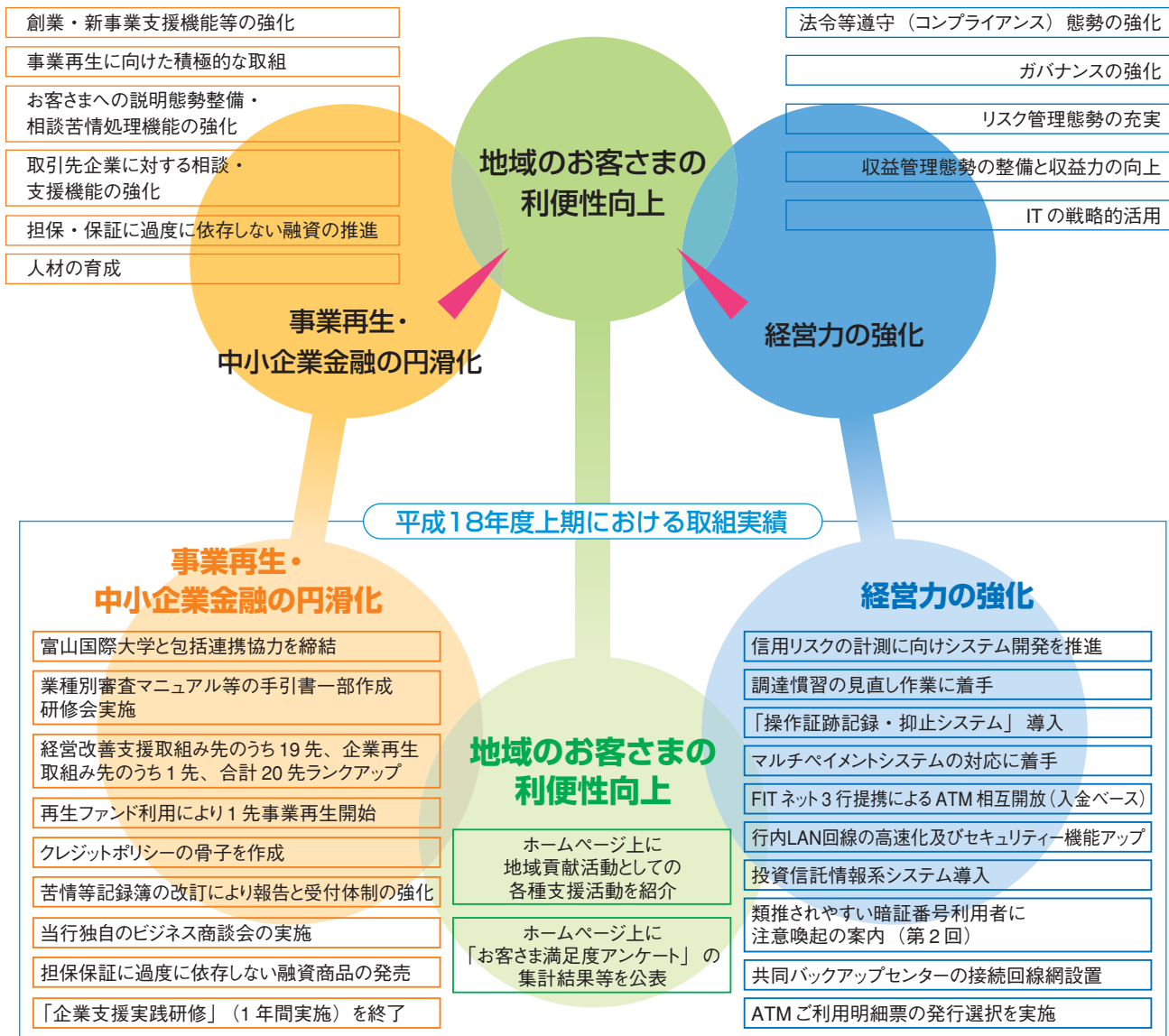
(単位:百万円)

	平成17年9月末	平成18年3月末	平成18年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,544	7,649	7,514
危険債権	10,752	12,261	9,570
要管理債権	6,312	5,305	5,429
小計 (A)	25,609	25,216	22,514
正常債権	652,655	655,298	652,339
債権額合計 (B)	678,265	680,514	674,854
小計の債権額に占める割合 (A)/(B)	3.77%	3.70%	3.33%
保全額 (C)	24,125	23,309	20,296
貸倒引当金	8,496	9,112	7,395
担保・保証等	15,628	14,197	12,901
保全率 (C)/(A)	94.20%	92.43%	90.14%

【金融再生法開示債権比率】



地域密着型金融推進計画の進捗状況



■地域密着型金融推進計画の詳細は、当行ホームページに掲載しております。 <http://www.first-bank.co.jp/>

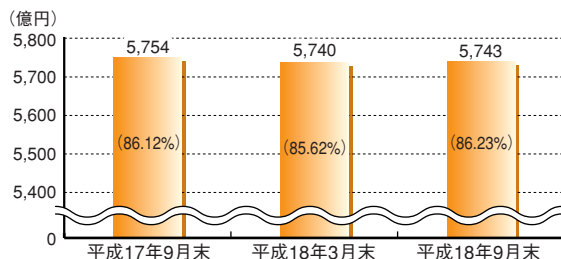
地域への貢献

富山県内向け貸出金の推移

当行は、地域経済の発展とともに歩む金融機関を目指し、地元富山県内における幅広い資金ニーズに積極的に応えております。平成18年9月末の富山県内向け貸出金残高は5,743億円、当行の貸出金全体に占める比率は86.23%となりました。

【富山県内向け貸出金の推移】

(グラフ内%は貸出金全体に占める比率)



融資新商品

当行は、平成17年8月、担保・保証に過度に依存しない融資制度を創設し、地域の中小企業金融円滑化・安定化に寄与するため、商工会議所及び商工会会員企業を対象としたファーストサポート商品の取扱いを開始致しましたが、新たに会計参与又は会計監査人を設置している会社や、法人会メンバー企業に対する商品等を追加いたしました。

(ファーストサポート商品)

商工会議所メンバーズ融資

商工会メンバーズ融資

会計参与制度及び会計監査人制度導入支援融資

法人会メンバーズ融資

災害サポート融資

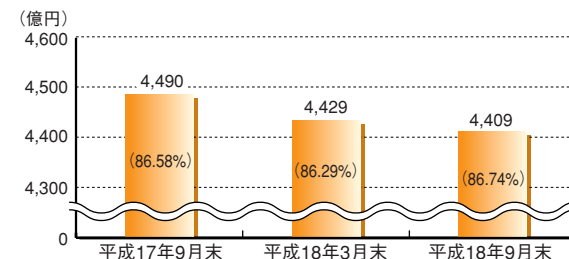
今後も地域の中小企業金融の円滑化に積極的に取り組んでまいります。

富山県内中小企業等向け貸出金の推移

平成18年9月末の中小企業等に対する貸出金のうち、地元富山県内の中小企業等への貸出金残高は4,409億円、中小企業等貸出金全体に占める割合は86.74%となりました。今後も地域金融機関として地域経済の発展とともに歩んでまいります。

【富山県内中小企業等向け貸出金の推移】

(グラフ内%は中小企業等向け貸出金全体に占める比率)



新たな決済手段の提供

当行では、平成17年12月、地元企業の皆さまの成長支援を目的に、「売掛債権一括決済システム（一括信託方式）」の取扱いを開始致しました。本システムは、企業の支払手形削減ニーズに応えるべく、先進的な金融手法を活用することで、新しい決済手段を提供していくものです。

CLO融資の取組み

当行は、平成17年12月、地元中小企業の皆さまの成長支援を目的に、中小企業金融公庫の証券化支援業務スキームを活用した無担保・第三者保証なしのCLO（ローン担保証券）融資を実施致しました。今後も中小企業の皆さまのために多彩な資金調達手段の提供及び支援を行ってまいります。

NPO法人融資の取組み

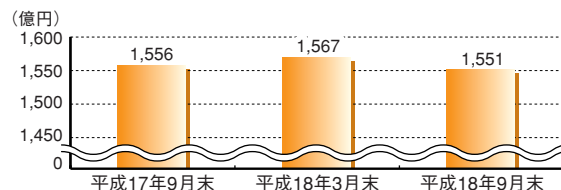
当行は、コミュニティビジネスを営むNPO法人に対する(財)富山県新世紀産業機構の債務保証制度の取扱いを開始いたしました。

地域への貢献

住宅ローンの推移

地域の個人のお客さまに対し、夢の実現とゆとりある生活をお手伝いするため住宅ローンを積極的に推進しています。平成18年9月末の住宅ローン貸出数は12,523件、貸出残高は1,551億円となりました。

【住宅ローン残高の推移】



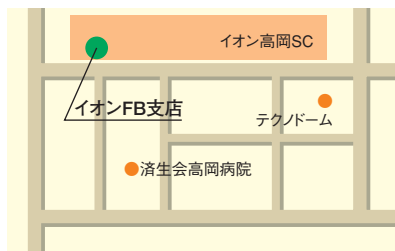
住宅ローン相談所のご案内 ローン専用フリーダイヤル 0120-161665

■グリーンビル・ローンセンター支店
TEL (076) 422-6100



平日 9時～19時
土・日・祝日 10時～17時

■イオンFB支店
TEL (0766) 27-1231



平日 9時～20時
土・日・祝日 10時～17時

■魚津駅前支店
TEL (0765) 24-4433



平日 9時～17時
土・日・祝日 10時～16時

貸出運営方針

当行の社会的使命は、地域社会の発展に貢献することであり、お客さまの資金需要に対して積極的にお応えしております。とりわけ地域産業の担い手である中堅・中小企業や自営業者、個人の皆さまへのご融資に積極的に取組んでおります。

これからも、特定業種にかたよることなく安定的資金供給に努めてまいります。

地方公共団体との取引

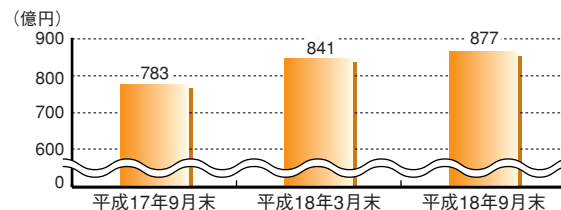
当行では、地方公共団体の資金需要に積極的にお応えしております。平成18年9月末における富山県及び富山県内市町村等への融資残高は877億円となりました。また、「とやま県民債」や「とやま市民債」の窓口販売等を通じて、地域社会の環境整備に協力しております。

【富山県内向け貸出金業種別内訳】

(単位：百万円)

	貸出金残高		
	平成18年3月末	平成18年9月末	増減
製造業	88,824	92,181	3,357
卸売・小売業	61,627	60,557	△1,070
建設業	43,305	40,622	△2,683
各種サービス業	75,400	74,243	△1,157
金融保険業	6,098	7,129	1,031
不動産業	23,469	22,787	△682
地方公共団体	84,181	87,735	3,554
個人その他	191,151	189,070	△2,081
合計	574,059	574,327	268

【富山県内地方公共団体等向け貸出金の推移】



地域への貢献

財団法人 富山第一銀行奨学財団による支援

(財)富山第一銀行奨学財団では、学術研究活動支援を目的として、各教育機関へ助成活動を行っております。

平成18年度は富山県内の大学3校をはじめ、短大、高等専門学校等の25研究機関に総額15,220千円の助成を行いました。また、昭和34年の財団設立以来行っている学生への奨学金の給貸与は、平成18年度の2名を加え総数307名となりました。

		平成16年度	平成17年度	平成18年度
助成部門	助成先数	36機関	34	25
	助成金額	15,720千円	12,720	15,220
	奨学金	5,430千円	6,480	5,952
	金額計	21,150千円	19,200	21,172

小学生図画コンクールの開催

昭和38年以来、将来を担うこどもたちの健全な成長と一枚の図画を通して家族の絆を強めていただくことを目的に、毎年「小学生図画コンクール」を開催しております。(社)富山県教育会、(株)北日本新聞社、北日本放送(株)、(財)富山第一銀行奨学財団の協賛を得て、44回を数えました。第45回の今年度も平成18年12月より作品募集を開始し平成19年3月に審査結果発表、表彰式を予定しております。たくさんのおこどもたちのご応募をお待ちしております。



図画コンクール表彰式



中小企業動向調査

公益信託「富山ファーストバンク社会福祉基金」の活動

普銀転換10周年事業として設立された公益信託富山ファーストバンク社会福祉基金では、平成12年の設立以来、住民参加型の社会福祉事業やボランティア活動等に助成しております。平成18年度までの助成金額合計は75団体、20,590千円となりました。

平成19年度も多数の皆さまのご応募をお待ちしております。

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
助成先数	12団体	7	11
助成金額	3,290千円	3,570	3,450

「産・学」連携による地域貢献

当行は、産学連携、教育研究、人材交流等を通じて活力ある地域経済の発展並びに地域社会への貢献を目的として、下記高等研究機関と包括連携協力を締結しております。

富山大学
富山工業高等専門学校
富山県立大学
富山商船高等専門学校
富山国際大学
(締結順)



富山大学との調印式の様子

富山県内の中小企業動向調査の実施

企業経営者の皆さまの経営管理にお役立ていただく資料として、昭和51年より四半期ごとに富山県内の中小企業を対象にアンケート調査を実施し、業種別企業動向を発表しております。同調査は、回答企業数(平成18年9月407社)も大規模となっており、好評をいただいております。

地域への貢献

FITネット商談会

「FITネット」は当行、株式会社北國銀行、株式会社福井銀行の3行業務提携事業の総称です。

平成18年10月3日、福井県越前市のサンドーム FITネット商談会の様子



福井において、3行共同主催の第2回FITネット商談会を開催致しました。当日は参加企業数600社・団体(236ブース)、来場者3,950名、商談数1,965件と盛大な開催となりました。第3回は平成19年10月に富山県にて開催予定です。

「ビジネスソリューションチーム」新設

当行では、お客さまの多様化にご要望にお応えするため、全営業店と連携して新しいビジネスモデル、金融商品等の提案を行う「ビジネスソリューションチーム」を新設致しました。

当チームでは

- ・個別企業のニーズに応じたオーダーメイド型商品の提供
 - ・経営支援サービスの提供
 - ・産学官連携の具体的案件の推進
 - ・FITネット業務提携分野の拡大
 - ・ビジネスクラブ、ビジネスマッチング等の運営強化 等
- に取り組んでおります。

各種相談会の実施

資産運用プラザにおいて、専属の税理士が常時税務相談にお応えしております。また、平日に加え土曜日の開催や、県内各支店での開催も行っております。また、毎月各支店において「ローン相談週間」を設けてローンの相談にお応えしております。

その他、県内各支店で、社会保険労務士による年金相談会を年20回程度開催しております。ぜひ、ご活用下さい。

ファーストバンク・ビジネスクラブの活動

ファーストバンク・ビジネスクラブでは、インターネットによる企業経営に関する情報提供・情報交換、企業経営にかかる媒体物の配布、交流会実施によるビジネスマッチング・各種セミナーの開催、経営相談・コンサルティング等の積極的な活動を行っています。

[ビジネス交流会]

平成18年5月24日、富山国際会議場において、ファーストバンク・ビジネスクラブ主催の「ビジネス交流会2006」を開催致しました。県内外の企業や大学など232社・団体(76ブース)が参加し大好評を博しました。



[中国ビジネス倶楽部]

会員向の新サービスとして「中国ビジネス倶楽部」を追加致しました。これは、当クラブが提携しているSMBCコンサルティング(株)のサービスのひとつであり、これを機に会員の皆さまの中国ビジネス関連の相談が可能となりました。

資産運用プラザセミナー

経済や外国為替、くらしの税金、投資信託、外債、老後のお金、年金、退職金の運用などのテーマを用意しております。知りたいこと、聞いておきたいことをわかりやすくお話しします。お気軽にお越しください。



資産運用プラザセミナーの様子

開催実績

回次	開催日	テーマ
11	平成18年6月22日	国内株式市場の展望
12	平成18年7月20日	株式投資中級編
13	平成18年9月21日	上手な相続対策実践
14	平成18年10月25日	戸外で春まで咲き続ける花の寄せ植え

今後の開催予定等は当行ホームページに掲載しております。

お知らせ

本人確認について

銀行取引を行うにあたり、お客さまの本人確認を行うことが「金融機関等による顧客等の本人確認等及び預金口座等の不正な利用の防止に関する法律」により義務づけられております。お取引の際には、公的証明書等が必要となりますのでご了承ください。なお、本法律の改正が平成19年1月4日から施行される予定です。

「振り込め詐欺」にご注意ください

振り込め詐欺が頻発しています。不審な請求があった場合は、ご家族や警察に相談して事実関係を確認した上で対処してください。

身に覚えのない請求などがあった場合も安易に振込等を行わないようご注意ください。不安な方は、最寄りの警察や消費生活センターなどにご相談ください。

ATMご利用に関するお知らせ

最近、キャッシュカードと運転免許証等が同時に盗まれ、暗証番号を生年月日等としていたためATMから現金が不正に引き出される被害が多発しております。今後もお客さまに安心してお取引していただくため、第三者から推測され易い暗証番号をご使用の場合は、暗証番号を変更してくださるようお願い致します。当行におけるこれまでのセキュリティ向上策の主なものは以下のとおりです。

- ・一日当たりご利用限度額を200万円に設定
- ・盗難・紛失届の24時間受付窓口の設置
- ・ATM後方確認ミラーの設置
- ・ATM異常取引検知システムの開始
- ・ホームページ上での暗証番号に関する注意喚起
- ・暗証番号変更依頼の郵送案内
- ・ATM画面の覗き見防止フィルターを設置

◎当行のATMでは暗証番号の変更が可能です。

偽造・盗難キャッシュカード被害に対する補償について

当行では、「偽造カード等及び盗難カード等を用いて行われる不正な機械式預貯金払戻し等からの預貯金者の保護等に関する法律」の施行に伴い、偽造・盗難キャッシュカード被害に対する補償を行っております。

- ・補償対象となるキャッシュカード 個人のお客さまのキャッシュカード
- ・補償の対象 偽造・変造、盗難キャッシュカードを使用した不正な引出し

推測され易い暗証番号を使用の上、カードや暗証番号の管理を安易にされていた場合は、ご預金の被害額の全部または一部について補償致しかねる場合があります。

◎詳しくは窓口へお問合せください。

富山第一銀行ヘルプデスク
盗難・紛失等のトラブルはここにお電話を！
フリーダイヤル 0120-552495
TEL 076-433-7717

24時間
対応！

当行ホームページ <http://www.first-bank.co.jp/>

お客さま満足度向上を目指して

当行では、第10次長期経営計画で目指しております「お客さま満足度の向上」のため、平成18年2月に「第1回お客さま満足度アンケート」を実施いたしました。

アンケート回収結果は下記のとおりです。

	回答依頼件数	回収件数	回収率
個人のお客さま	1,988	1,226	61.7%
法人のお客さま	496	337	67.9%

「第1回お客さま満足度アンケート集計結果」の概要については、当行ホームページに掲載しております。

個人情報の保護について（個人情報保護宣言 要約）

富山第一銀行は、お客さまの個人情報ならびに業務上の取引に関連して取得する個人情報について、下記の考え方・方針に基づき適正かつ厳格に取扱うことを宣言いたします。

- 1.個人情報の取扱いに関し、「個人情報の保護に関する法律」および全国銀行協会制定自主ルール等を遵守いたします。
- 2.個人情報の取得は適法かつ適正に行い、利用にあたってはその利用目的を特定し、利用目的の達成に必要な範囲において取り扱います。当行とご本人との間で契約を締結することに伴って、直接書面に記載されたご本人の個人情報を取得する場合には、その利用目的をご本人に明示いたします。取得した個人データは、ご本人の同意を得ている場合、法令に基づく場合等を除き、第三者に提供することはいたしません。
- 3.取得した個人データを取扱う部店ごとに管理者を設置する等、組織的・人的・技術的な安全管理措置を講じます。また、取得した個人データを正確かつ最新の内容にするよう常に適切な措置を講じるよう努力いたします。
- 4.お客さまご自身に関する個人データについて開示・訂正・利用停止等をご請求される場合は、当行本支店の窓口にお申し出下さい。
- 5.当行の個人情報の取扱いおよび安全管理措置に関するご質問、苦情については、お取引しておられる支店窓口のほか、下記の相談窓口で受付いたします。

【個人情報の取扱いおよび安全管理措置に関する相談窓口】

〒930-8630 富山県富山市総曲輪2丁目2番8号
株式会社富山第一銀行 営業企画部お客さま相談室
フリーダイヤル 0120-462550（受付時間：平日9時から17時）

- 6.個人情報保護のための体制および取組みについては継続的に見直しを行い、その改善に努めます。

詳しくは当行ホームページをご覧ください。

中間連結貸借対照表

(平成18年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
資産の部	
現金預け金	9,921
コールローン及び買入手形	25,500
買入金銭債権	305
商品有価証券	363
金銭の信託	600
有価証券	302,303
貸出金	654,183
外国為替	1,463
その他資産	7,915
有形固定資産	17,727
無形固定資産	531
支払承諾見返	7,805
貸倒引当金	△9,971
資産の部合計	1,018,648
負債の部	
預金	877,101
譲渡性預金	24,320
コールマネー及び売渡手形	2,815
債券貸借取引受入担保金	20,466
借入金	3,714
外国為替	1
その他負債	4,873
役員賞与引当金	12
退職給付引当金	3,558
繰延税金負債	1,171
再評価に係る繰延税金負債	1,690
支払承諾	7,805
負債の部合計	947,532
純資産の部	
資本金	8,000
資本剰余金	5,432
利益剰余金	40,440
自己株式	△163
株主資本合計	53,710
その他有価証券評価差額金	11,343
繰延ヘッジ損益	0
土地再評価差額金	2,077
評価・換算差額等合計	13,420
少数株主持分	3,984
純資産の部合計	71,115
負債及び純資産の部合計	1,018,648

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結子会社の状況

会社名/本店所在地	業務内容	資本金	設立年月日
富山ファースト・ビジネス(株) 富山市奥田本町6番35号(富山ファインナンスビル内)	現金などの精査・整理 労働者派遣事業等	百万円 10	昭和63年2月13日
富山ファースト・リース(株) 富山市掛尾町626番地(ファーストバンク・グリーンビル5F)	リース業務等	30	昭和59年12月1日
富山ファースト・ディーシー(株) 富山市掛尾町626番地(ファーストバンク・グリーンビル6F)	クレジットカード 信用保証業務等	20	昭和62年3月18日
富山ファースト機販(株) 富山市掛尾町626番地(ファーストバンク・グリーンビル5F)	リース業務等	10	平成元年11月28日
(株)富山ファイナンス 富山市掛尾町626番地(ファーストバンク・グリーンビル4F)	信用保証業務等	10	昭和29年10月5日

中間連結損益計算書

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで) (単位：百万円)

科目	金額
経常収益	13,329
資金運用収益	9,476
(うち貸出金利息)	(6,248)
(うち有価証券利息配当金)	(3,088)
役員取引等収益	1,141
その他業務収益	2,509
その他経常収益	202
経常費用	10,622
資金調達費用	674
(うち預金利息)	(431)
役員取引等費用	533
その他業務費用	2,667
営業経費	5,897
その他経常費用	849
経常利益	2,707
特別利益	307
特別損失	4
税金等調整前中間純利益	3,009
法人税、住民税及び事業税	1,061
法人税等調整額	653
少数株主利益	122
中間純利益	1,172

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

当中間期(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで) (単位：百万円)

	株主資本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
平成18年3月31日残高	8,000	5,432	39,504	△150	52,787
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△212		△212
利益処分による役員賞与			△24		△24
中間純利益			1,172		1,172
自己株式の取得				△34	△34
自己株式の処分		0		20	20
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)					
中間連結会計期間中の変動額合計	-	0	935	△13	922
平成18年9月30日残高	8,000	5,432	40,440	△163	53,710

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	10,307	-	2,077	12,384	3,967	69,139
中間連結会計期間中の変動額						
剰余金の配当						△212
利益処分による役員賞与						△24
中間純利益						1,172
自己株式の取得						△34
自己株式の処分						20
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)	1,036	0	-	1,036	17	1,054
中間連結会計期間中の変動額合計	1,036	0	-	1,036	17	1,976
平成18年9月30日残高	11,343	0	2,077	13,420	3,984	71,115

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第96期 中間貸借対照表

(平成18年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
資産の部	
現金預け金	9,692
コールローン	25,500
買入金銭債権	305
商品有価証券	363
金銭の信託	600
有価証券	293,058
貸出金	666,006
外国為替	1,463
その他資産	4,009
有形固定資産	9,837
無形固定資産	45
支払承諾見返	7,805
貸倒引当金	△9,248
資産の部合計	1,009,441
負債の部	
預金	877,508
譲渡性預金	24,320
コールマネー	2,815
債券貸借取引受入担保金	20,466
外国為替	1
その他負債	3,271
役員賞与引当金	12
退職給付引当金	3,547
繰延税金負債	1,092
再評価に係る繰延税金負債	1,690
支払承諾	7,805
負債の部合計	942,531
純資産の部	
資本金	8,000
資本剰余金	5,430
資本準備金	5,430
利益剰余金	40,272
利益準備金	2,038
その他利益剰余金	38,233
別途積立金	33,860
繰越利益剰余金	4,373
自己株式	△162
株主資本合計	53,540
その他有価証券評価差額金	11,292
繰延ヘッジ損益	0
土地再評価差額金	2,077
評価・換算差額等合計	13,369
純資産の部合計	66,910
負債及び純資産の部合計	1,009,441

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第96期 中間損益計算書

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで) (単位：百万円)

科目	金額
経常収益	10,920
資金運用収益	9,385
(うち貸出金利息)	(6,276)
(うち有価証券利息配当金)	(2,969)
役員取引等収益	1,138
その他業務収益	199
その他経常収益	197
経常費用	8,440
資金調達費用	648
(うち預金利息)	(431)
役員取引等費用	543
その他業務費用	626
営業経費	5,820
その他経常費用	801
経常利益	2,480
特別利益	306
特別損失	4
税引前中間純利益	2,782
法人税、住民税及び事業税	961
法人税等調整額	661
中間純利益	1,158

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第96期 中間株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				純資産合計				
	資本金	資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	利益剰余金合計	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益		土地再評価差額金			
平成18年3月31日残高	8,000	5,430	5,430	1,991	31,360	5,998	39,349	△149	52,630	10,250	-	2,077	12,327	64,957
中間会計期間中の変動額														
利益準備金の積立				47		△47	-	-	-					-
別途積立金の積立					2,500	△2,500	-	-	-					-
剰余金の配当						△212	△212		△212					△212
利益処分による役員賞与						△24	△24		△24					△24
中間純利益						1,158	1,158		1,158					1,158
自己株式の取得								△15	△15					△15
自己株式の処分								2	2					2
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(売却)										1,042	0			1,042
中間会計期間中の変動額合計				47	2,500	△1,624	922	△12	909	1,042	0		1,042	1,952
平成18年9月30日残高	8,000	5,430	5,430	2,038	33,860	4,373	40,272	△162	53,540	11,292	0	2,077	13,369	66,910

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

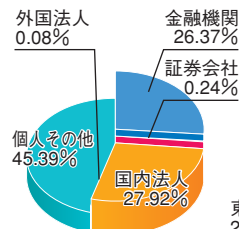
株式のご案内

役員 (平成18年9月30日現在)

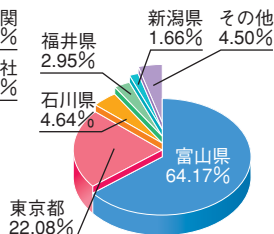
1. 株式の状況 (平成18年9月30日現在)

- | | |
|----------------|--------------|
| (1) 発行する株式の総数 | 180,000,000株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 60,809,700株 |
| (3) 当期中の名義書換件数 | 195件 |
| (4) 当期中の名義書換株数 | 1,967,610株 |
| (5) 株主数 | 5,794名 |

[所有者別株式数]



[地域別株式数]



2. 決算日

毎年3月31日

3. 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

4. 配当金受領株主確定日

- (1) 期末配当金 毎年3月31日
- (2) 中間配当金 毎年9月30日

なお、配当金のお受け取りには、お近くの当行本支店の預金口座へ振込のご指定をいただきますと、お受け取りが早くてまがいもなくご便利です。

5. 基準日

定時株主総会については3月31日といたします。
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

6. 公告掲載新聞名

富山市において発行する北日本新聞

7. 株式取扱手数料

- (1) 株式名義書換無料
- (2) 新券交付株券1枚につき200円
- (3) 株券喪失登録1件につき3,000円
株券1枚につき360円

8. 株主名簿管理人・事務取扱場所・取次所

- (1) 株主名簿管理人
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- (2) 同事務取扱場所
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- (3) 同 連 絡 先 (郵便物送付先及び電話照会先)
(〒171-8508) 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-707-696(フリーダイヤル)
- (4) 同 取 次 所
三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

取締役

取締役頭取	金岡純二
常務取締役	福原祥二
常務取締役	武隈光男
常務取締役	岡本諦観
常務取締役	橋本一次
取締役	稲垣義雄
取締役	藤岡正紀
取締役	南茂敬
取締役	本多正文
取締役	宮川一誠
取締役	浅井澄夫

監査役

常勤監査役	平井彦次郎
常勤監査役	澤田清孝
監査役	中尾哲雄
監査役	梅沢直正

監査役のうち中尾哲雄および梅沢直正の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員

執行役員	藤澤繁幸
------	------

ファースト・バンク店舗のご案内 (平成18年11月30日現在)

富山県内 (56カ店)

★本 店	富山市総曲輪二丁目2番8号	(076) 424-1211
本店営業部総曲輪出張所	同 総曲輪一丁目7番15号	(076) 442-8012
★ニューセンター支店	同 牛島新町5番5号	(076) 444-8111
★富山南センター支店	同 掛尾町626番地	ファーストバンク グリーンビル2F (076) 424-1470
グリーンビル・ ローンセンター支店	同 掛尾町626番地	ファーストバンク グリーンビル1F (076) 422-6100
●富山駅前支店	同 新富町一丁目4番7号	(076) 441-4466
●堤町支店	同 堤町通り二丁目2番15号	(076) 423-7691
●石金支店	同 石金三丁目1番1号	(076) 424-1786
●五福支店	同 五福字才勝1922番地の8	(076) 431-8086
●小泉支店	同 西中野本町12番10号	(076) 423-8381
●下新支店	同 千代田町9番14号	(076) 432-3651
●東町支店	同 東町一丁目5番1号	(076) 421-2311
岩瀬支店	同 東岩瀬町295番地	(076) 437-7124
水橋支店	同 水橋町25番地の4	(076) 478-2141
堀支店	同 下堀54番地	(076) 423-2230
問屋町支店	同 問屋町二丁目11番38号	(076) 451-1177
荏原支店	同 向新庄200番27	(076) 423-8540
月岡支店	同 開発201番地	(076) 429-5511
根塚町支店	同 新根塚町一丁目5番25号	(076) 491-2233
針原支店	同 金泉寺247番地	(076) 451-2111
呉羽支店	同 呉羽町7162番地の5	(076) 436-1122
●山室支店	同 山室187番地の9	(076) 492-1710
北の森支店	同 森三丁目2番11号	(076) 437-5000
鷺坂支店	同 婦中町分田88番地の4	(076) 422-1170
●婦中支店	同 婦中町速星818番地	(076) 466-2121
●八尾支店	同 八尾町東町2231番地	(076) 454-3141
大沢野支店	同 上大久保1899番地	(076) 467-2336
上滝支店	同 上滝288番地	(076) 483-1311
立山支店	中新川郡立山町五百石16番地の1	(076) 463-1235
上市支店	同 上市町三日市47番地の15	(076) 473-1230
●滑川支店	滑川市下小泉町75番地の4	(076) 475-3101
★魚津支店	魚津市中央通り一丁目7番9号	(0765) 24-1234
魚津駅前支店	同 上村木一丁目1番25号	(0765) 24-4433
●黒部支店	黒部市牧野83番地の1	(0765) 52-1230
●宇奈月支店	同 宇奈月温泉243番地	(0765) 62-1019
入善支店	下新川郡入善町入膳5430番地	(0765) 72-1188

泊支店	下新川郡朝日町平柳688番地	(0765) 82-1155
★高岡支店	高岡市丸の内1番12号	(0766) 21-3130
★イオンFB支店	同 下伏間江383番地	(0766) 27-1231
●高岡中央支店	同 木舟町80番地1	(0766) 22-5678
●昭和町支店	同 昭和町三丁目3番20号	(0766) 23-7337
清水支店	同 清水町二丁目3番24号	(0766) 24-2526
中川支店	同 東中川町1番34号	(0766) 24-6363
大野支店	同 大野158番地の1	(0766) 23-2353
福岡支店	同 福岡町下糞385番地	(0766) 64-5800
太閤山支店	射水市中太閤山一丁目1番地6	(0766) 56-3688
大門支店	同 大門104番地の3	(0766) 52-5507
●新湊支店	同 中新湊13番5号	(0766) 84-4124
水見支店	水見市丸の内10番24号	(0766) 74-1600
水見南支店	同 柳田2081番地の4	(0766) 91-1200
●砺波支店	砺波市本町2番27号	(0763) 32-3363
●福野支店	南砺市福野1320番地1	(0763) 22-2151
城端支店	同 城端158番地1	(0763) 62-1204
井波支店	同 山見1739番地17	(0763) 82-1525
福光支店	同 福光7367番地	(0763) 52-1211
●石動支店	小矢部市本町2番4号	(0766) 67-0581

富山県外 (13カ店)

★金沢支店	金沢市尾山町1番8号	(076) 221-6131
泉支店	同 泉二丁目6番7号	(076) 242-1881
東大通支店	同 元町二丁目15番15号	(076) 251-5911
七尾支店	七尾市大手町59番地	(0767) 52-3600
●輪島支店	輪島市河井町2部95番地	(0768) 22-1114
糸魚川支店	糸魚川市本町9番9号	(025) 552-1711
●直江津支店	上越市五智一丁目1番27号	(025) 543-3771
●長岡支店	長岡市城内町二丁目2番地1	(0258) 33-4810
●神岡支店	飛騨市神岡町船津1201番地の3	(0578) 2-1031
●高山支店	高山市本町三丁目58番地	(0577) 32-2820
★東京支店	東京都千代田区神田岩本町2番地	(03) 3256-6311
名古屋支店	名古屋市中区大須三丁目14番62号	(052) 261-5871
★大阪支店	大阪市西区靱本町一丁目9番15号	(06) 6443-4651

★印…外国為替取扱店

●印…外貨両替取扱店

店舗外キャッシュサービスコーナーのご案内 (80カ所) (平成18年11月30日現在)

富山市

- 富山第一銀行総合事務センター
- アーバンプレイス
- 富山赤十字病院
- ★ J R 富山駅
- ★ マリエとやま
- ★ 高志会館
- 富山県庁
- 富山市役所
- ★ ショッピングシティアピア
- 北日本スクエア
- ★ 総曲輪通り
- 富山市民病院
- ★ 越州村
- ★ アビタ富山店
- ★ 本郷町
- ★ グリーンモール山室
- ★ 大阪屋北新町店
- 富山県立中央病院
- ★ マックスバリュー上飯野店
- ★ アビタ富山東店
- 富山機械工業センター
- 富山県高志リハビリテーション病院
- 済生会富山病院
- ★ 北の森ショッピングタウン
- ★ 水橋ミューズ
- ★ サンショウ石坂店
- 富山企業団地

富山大学(学生会館内)

- 富山大学附属病院
- ボートラムスクエア
- ★ ファボーレ
- 婦中鉄工業団地
- ★ 笹倉
- ★ J R 八尾駅前
- 富山市大沢野総合行政センター前
- ★ グリーンバレー大沢野
- 富山国際大学

立山町

- 立山町役場前
- ★ 立山ナビオ前

上市町

- ★ マックスバリュー上市店

滑川市

- 滑川市役所前
- ★ エール滑川
- ★ バスタ前
- ★ プラント3 滑川店

魚津市

- 魚津市役所前
- ★ アップルヒル
- ★ アビタ魚津店

黒部市

- 黒部市役所
- ★ パルフェ黒部店前
- ★ エーシーシー黒部店前

- ★ メルシー黒部
- ★ アビタ黒部店
- 黒部市役所宇奈月庁舎前

朝日町

- ★ 荒川

入善町

- 入善町役場前
- ★ 入善コスモ21

高岡市

- ★ J R 高岡駅
- ★ 高岡サティ
- ★ スーパーヒラキストア大坪店前
- 高岡市民病院
- ★ ジャスコ高岡店
- ★ イオン高岡

射水市

- アイシン軽金属
- 射水市役所小杉庁舎前
- ★ 太閤山バスコ
- ★ アル・プラザ小杉
- ★ いみずのショッピングタウン
- ★ イータウン
- 射水市役所大門庁舎前
- 三精工業前
- ★ 西新湊

氷見市

- ハッピータウン氷見
- ★ 氷見ブラファ

砺波市

- ★ アビタ砺波店
- ★ ジャスコ砺波店
- ★ サンコー砺波中央店

南砺市

- ★ 福野ア・ミュー
- 南砺中央病院

小矢部市

- ★ ユニー小矢部店

飛騨市

- ★ パロー神岡店

- …土曜日稼働店
- …土曜日・日曜日稼働店
- ★…祝日稼働店

その他、北國銀行、福井銀行の全てのATMでの入出金が無料で利用できます。(FITネットATM)
但し、北國銀行のコンビニATMを除きます。
平日の18時以降、土・日・祝日の休日時間
外手数料は有料となります。



<http://www.first-bank.co.jp/>



古紙配合率100%再生紙と大豆油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。